

消防団鍛錬成果競う

市消防演習に700人参加



演習では、女性消防団員も力強い小隊訓練を披露しました

地域防災の要である消防団の技術と団員の士気を高めるため、平成26年度の市消防団演習が9月7日、長沼フット



小型ポンプ操法。機敏な動きでホースを操作する団員たち

ピア公園で開催されました。昨年度は雨天で中止となり、2年ぶりの開催となる本年度は、市内9支団から約700人の団員が参加しました。

演習は9支団の対抗で、小型ポンプ操法と小隊訓練の2種目を実施。各支団の消防操法技術や規律の高さ、チームワークなど、日頃の鍛錬の成果を競いました。

審査の結果、小型ポンプ操法では米山支団が、小隊訓練では中田支団がそれぞれ第1位となり、総合優勝は米山支団となりました。

神楽衣装を手縫いで

西郷コミュニティでボランテア

南方町の西郷コミュニティ推進協議会（後藤一衛会長）が宝くじ助成事業を活用して購入した神楽衣装の生地を、地域のボランテアが手縫いで仕上げています。神楽衣装は地域の伝統芸能「畑岡神楽」用で、西郷小学校の高学年児童が使用するものです。衣装作りは、同コミュニティ

ティの千葉憲悦事務局長が呼び掛け、8月29日から西郷公民館で実施。佐竹壽美子さん（一ノ曲）たち7人のボランテアに、西郷小の高橋悦子校長も衣装作りに参加しています。佐竹さんは「地域の子どもたちが、仕上げた衣装で神楽を舞うのが楽しみです」と目を細めていました。



子どもたちの舞う姿を思い浮かべ針が刺さっていきます。仕上がりが目標は30着。10月のコミュニティイベントで披露する予定です

市民視点で事業検証

33の事務事業を外部評価

市が実施している事業を市民の視点から評価する「外部評価」が8月5、8の両日、市役所迫庁舎で開かれました。外部評価は、行政評価の客観性と透明性を高めるため、平成22年度から実施しています。

本年度の外部評価の対象は「地域福祉活動の強化」「スポーツ活動の振興」「子育て支援の充実」「農業振興推進体制の強化」の四つの基本事業を構成する33の事務事業です。

外部評価では、行政評価委員会の委員5人が、事業の効果や課題、今後の方向性などを検証しました。外部評価の評価結果は市ホームページで公開しています。



事業が効果的に展開されているかなど、活発な意見が出されました

市内産材の活用PR

中田・岩淵さん 幕張で実演

全国のウッドターニング愛好者で組織する団体が、8月28日から3日間、千葉県県の幕張メッセ国際展示場で開催された「JAPAN DIY HOMECENTER SHOW 2014」に実演ブースを出展。本市中田町の岩淵高雄さん（新小路）が、趣味の木工品作りを通して登米市産材をPRしました。

木工旋盤機を用いて作品を制作する「ウッドターニング」。岩淵さんは、スギやケヤキなど持ち込んだ本市産材をその場でストラップなどに加工、好評を得ました。3日間で約10万人の人手があり、岩淵さんは「多くの人に登米市産材の可能性をPRできたと思います」と満足そうでした。



来場者の求めに応じ、木工旋盤機でアクセサリなどを実演制作する岩淵さん（左）

新田地区の絆強める

地域づくりで新たな祭り



夕方の盆踊りにも大勢の人が参加し祭りを盛り上げました【写真提供=新田公民館】

迫町新田地区の新たな地域づくりイベント「ハートフルフェスティバル in NITTA」が8月23日、伊豆沼・

内沼サンクチュアリセンターで開催されました。イベントは、13行政区で構成する新田地区コミュニティ推進協議会が、市の助成を受け策定した「地域づくり計画」に基づき実施したものです。

当日は家族連れなど大勢の人たちが訪れ、地場産品の出店、白蓮太鼓や伝統芸能の披露、盆踊りなどを楽しみました。大会長を務めた協議会会長の新田清山ノ神区長は「このイベントを地区の活性化につなげていきたい」と話していました。

夢フェス成功を祈念

石川桜所を題材に來春公演

本市（中田町上沼）出身の蘭方医で、幕末から明治初期にかけて活躍、近代医学の祖の一人と言われた石川桜所（おしよ・本名「良信」）。来年3月7、8日に登米祝祭劇場で開催される市民劇場「夢フェスタ水の里」では、この人物を題材に取り上げます。8月13日には、中田町の生

家近くに建てられた桜所の記念碑前で、桜所の親族や中田町の有志ら約30人が、公演の成功を祈念しました。公演を主催する登米文化振興財団の佐藤寛一理事長は「石川先生の偉業は全国に誇れるもの。市民の力を結集し公演を成功させたい」とあいさつしました。



石川桜所の記念碑前で公演成功を祈念した関係者。来年は、桜所生誕190周年の節目の年でもあります